

患者の皆様へ

2019年6月28日

呼吸器内科

現在、呼吸器内科では、「免疫チェックポイント阻害薬による免疫介在性有害事象(imAE)と臨床的因子および投与前検査との相関関係に関する後方視的研究」を行っています。

今後の治療に役立てることを目的に、この研究では免疫チェックポイント阻害薬で治療を受けた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「免疫チェックポイント阻害薬による免疫介在性有害事象(imAE)と臨床的因子および投与前検査との相関関係に関する後方視的研究」
2. 研究の意義・目的 「免疫チェックポイント阻害薬の効果・副作用と、患者さんの状況・各種の画像・血液検査との関係を把握し、効果・安全性に関わる因子を探索する」
3. 参照するカルテの対象期間 平成26年7月4日 から 平成31年3月31日
4. 研究の方法 免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けられたがん患者さんの状態（年齢・性別・身長・体重・がんの組織型・病期）や治療経過についての情報（効果・副作用の状況・血液検査結果・画像検査結果・治療方法・治療効果・生存期間）をカルテから取り出し、集計、解析を行います。
5. 個人情報の取り扱いについて
本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器疾患治療開発戦略共同研究講座の鍵のかかる棚で保管します。
7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について
ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院
本件のお問合せ先: 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学
医師 岩澤俊一郎
043(222)7171 内線 7967